

○ 委員長報告

12月定例会本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和7年12月定例会

観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、県美術館における文化観光推進拠点計画の進捗状況についてであります。

このことについて一部の委員から、今年度に5か年計画の3年目を迎え、施策の進捗状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、令和6年度は、杉浦非水作品群のアーカイブ化やグッズ開発、吟行プログラムの実施、主要作品の英語解説文の作成等を行い、今年度は、展示空間の更新、夜間特別プログラムの試行、収蔵作品のデジタル化等に取り組んでおり、今年7月に実施された文化庁の中間評価では、総合的なKPI達成率が120%以上と高い評価を得ている。

今後も、開館30周年となる令和10年度に向け、美術館の持つ文化観光拠点施設としての魅力やポテンシャルを最大限に引き出しながら、県民はもとより国内外からより多くの来館を促進し、文化芸術の振興と地域活性化につながるよう努めていきたい旨の答弁がありました。

第2点は、教員不足解消に向けた取組についてであります。

このことについて一部の委員から、給特法の改正等による給与改定が教員の処遇改善や魅力向上につながり、教職を目指す若者へのアピールに結びついてほしいと考えるが、本県出身の県外大学生に対し、県内で教職についてもらうための取組はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、採用に関するオンライン説明会や県内外の65大学への訪問説明、採用試験に関するデジタル広告の配信など、本県出身の県外大学生に必要な情報が届くよう周知に努めている。

また、昨年度の採用試験から開始した本県独自の奨学金返還支援制度では、対象者のうち4名は県外出身者、11名は県外大学に進学した県内出身者であり、他県からの人材確保に繋がっている。更に今年度から、本人希望を踏まえ、中

学校保健体育科教員採用受験者を小学校体育教員として選考する工夫を行っている旨の答弁がありました。

第3点は、大規模災害に備えた県警の取組についてであります。

このことについて一部の委員から、県警では、大規模地震などの災害に備えた体制強化にどう取り組んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県警では、全国で発生した様々な災害の現場で得られた教訓を踏まえ、災害対策方針の基本となる愛媛県警察災害実施計画を適宜見直しながら、災害に備えた体制の強化を図っている。

具体的には、災害発生時における早期情報収集体制の強化や、対処能力の向上を目的とした実践的な訓練のほか、関係機関との協定締結等による連携強化、災害対応に必要な装備資機材の充実などの対策に取り組んでいる旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ えひめ夏旅なんよキャンペーン
- ・ 地方誘客や地域消費の拡大に向けた課題
- ・ 松山城北特別支援学校整備の進捗
- ・ 小規模校への遠隔授業配信
- ・ 秋祭りで発生した暴力事案
- ・ ストーカー対策
- ・ 交通安全施設等整備事業

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。